記者発表資料

平成２２年１２月２４日
国土交通省東北地方整備局
山 形 河 川 国 道 事 務 所

# 国道１３号 上山バイパス
# 開通後の交通状況をお知らせします

・平成22年12月12日（日）15時に開通した「上山バイパス」と現道の交通状況をお知らせします。
・開通した区間は、南陽市川樋～上山市中山間の5.5km区間です。

〇上山バイパスと国道１３号現道区間、２地点での１日当たり交通量（全車種と大型車）は以下の通りです。「南陽市中川地区」と「上山市中山地区」です。

（単位は、台／日）

| | ①南陽市中川地区 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 全車種 | | うち、大型車 | |
| バイパス区間 | 23,300 | | 5,600 | |
| 国道13号現道区間 | 1,400 | 23,000台　減少 | 200 | 5,400台　減少 |
| （バイパス開通前） | 24,400 | | 5,600 | |
| 利用転換の率 | 約94% | | 約97% | |

※12月17日記者発表データの再掲です。

（単位は、台／日）

| | ②上山市中山地区 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 全車種 | | うち、大型車 | |
| バイパス区間 | 23,500 | | 5,600 | |
| 国道13号現道区間 | 1,300 | 24,300台　減少 | 100 | 5,600台　減少 |
| （バイパス開通前） | 25,600 | | 5,700 | |
| 利用転換の率 | 約95% | | 約98% | |

※1. 測定日時は、開通前は11月11日午前7時～12日午前7時、
開通後は12月15日午前7時～16日午前7時の24時間

〇上山バイパス起点（南陽市川樋）～川口交差点（上山市川口）間の通過に要する時間が、開通前「１０分」　→　開通後「８分」に　「２分短縮」

※2. 通過時間測定は、開通前11月11日8時台、開通後12月15日8時台
上山バイパス起点（南陽市川樋）～川口交差点（上山市川口）間区間延長（約6.7km）

※なお、今後も開通後の交通状況等は適宜お知らせする予定です。

《発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部》

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
電話　０２３－６８８－８４２１（代表）
副　所　長　高橋　敏彦（内線２０５）
調査第二課長　武藤　徹　（内線４５１）

一般国道13号

# 上山バイパスが開通して

（平成22年12月12日開通）

## ①現道の交通量の約９割がバイパスへ転換
## ②朝の通勤時間帯の所要時間が2分短縮




開通後の上山バイパス



**整備前**

▼朝夕のラッシュ時を中心に交通量が集中。並行路線が無いため、生活空間に通過交通の大型車なども混入。沿道環境の改善、歩行者の安全性向上が必要な状況。

これまでの国道13号の混雑状況



▼今回開通する区間の現道は、交通事故や冬期の運搬排雪など交通を阻害する要因が多く存在

南陽市川樋地区での事故の様子



これまでの冬期の歩行状況



○国道13号の交通量の約9割が上山BPに転換
国道13号：24,400台／日 → 国道13号：1,400台／日 / 上山BP：23,300台／日

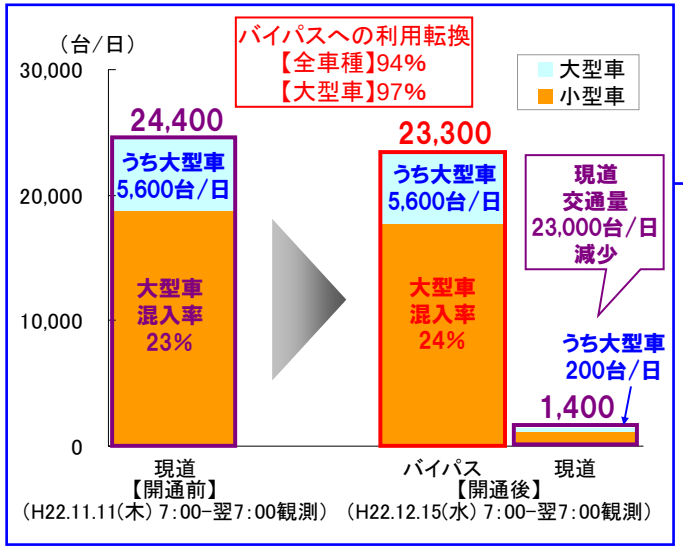
○朝ピーク時の所要時間が短縮、走行速度が向上
開通前：10分、44km/h → 開通後：8分、53km/h

・工事期間：昭和54年～
今回開通区間は、平成12年～
・延　長：全長17.2km／今回開通5.5km
・幅　員：14.5m（2車線区間）
・総事業費：約210億円（暫定2車線）　※完成4車線事業費：約270億円

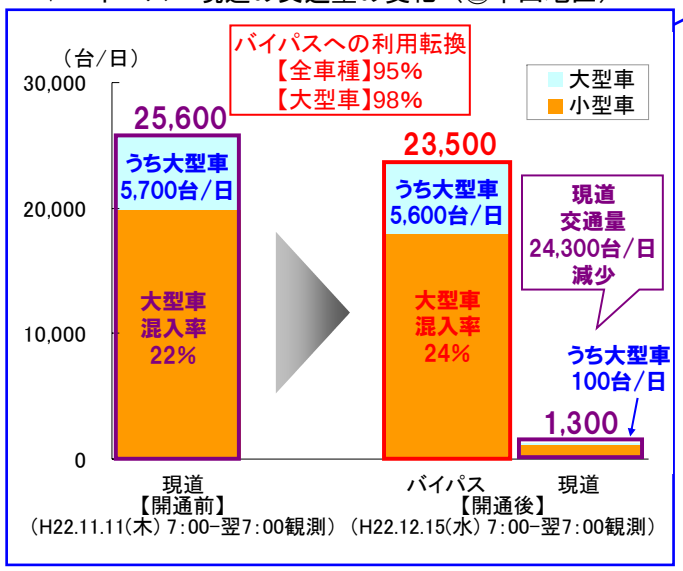
## ①国道13号現道の交通量の約９割が転換

○バイパス開通により現道からバイパスへ利用転換し、現道の交通量が減少

▼バイパス・現道の交通量の変化（①中川地区）




▼バイパス・現道の交通量の変化（②中山地区）







## ②朝の通勤時間帯の所要時間が２分短縮

○所要時間が短縮、旅行速度が向上

▼川樋交差点～川口交差点の所要時間と平均速度

